

◇ 北海道標茶高等学校 ◇

1 本校の概要

本校では、ことばと生活、ガイドとみどり、乳牛と食品を体験的に学ぶことができます。この体験的な学びを通して、自ら学び他者の考えを尊重し合う学習活動により、知識を活用できる学力を身に付け、社会に目を向ける人材を育成するための特色ある教育課程を編成しています。

(1) 地元の特色を生かした取組

- ・異校種連携：小学生対象ミニトマト活用食育授業・訪問教科活動、出身高校生の講話、特別支援学校合同学習会など
- ・中学生宿泊研修プログラムの実践：釧路管内3校の来訪、本校ゼミ活動グループによる体験研修指導など
- ・地域での販売実習：地域合同の販売会、他地域での標茶町紹介物販など
- ・地域ボランティア活動：地域社会教育事業のリーダー、清掃活動、植樹活動、福祉行事運営、高齢者施設慰問など

(2) 北海道の特色を生かした取組

- ・国際理解教育：英語各種コンテスト、外国クルーズ船ボランティア、ユースキャンプ、留学生受入観光案内など
- ・環境素材を生かした学習活動：エゾシカ角や革の加工と肉の調理研究、自然・湿原・河川・タンチョウのガイドなど
- ・生乳等を用いた商品開発：パフェやアイスクリームの新商品、ミニトマトを用いた飲むヨーグルトなど



高齢者福祉施設ボランティア



地域への自然ガイド



雪祭りでのしふぱフェの販売

2 本校PTAの取組

本校PTAの取組で特徴的なものは、学校祭等の行事での模擬店業務、PTA研修、親睦を兼ねた「親の会」などがあります。さらに、例年PTA役員と職員との交流会が多く開かれ、今後のPTA活動や学校教育活動に対しての意見交換が会食を交えて積極的に行われました。

(1) PTA研修

本校のPTA研修は、例年12月に行われています。研修内容は主にフランクフルトソーセージ作りで、平成30年度では総勢9名が本校の農業科職員2名の指導のもと、本校肉加工室で行いました。本校の施設設備の見学も兼ねて、お子さまの実技内容を追体験してもらいつつの研修となりました。ミンチの腸詰めが腕の見せ所です。

(2) 親の会

親の会は年2回実施されており、保護者と職員の貴重な交流の場として、学校行事等のスライドや映像を流したり、これまでの年次通信を冊子にして配布したり、お子さまの学習場面を思い描きながら、相互のコミュニケーションを図っています。また、実習授業で製造された加工品を試食できるのも、大きな魅力となっております。



学校祭での模擬店



PTA研修



親の会